

介護経営から現場ケアまで!!

つながる・学ぶ・変わる! “通所ケアの今と未来”がここにあります。

リアルな学びが体験できる!

第23回

日本通所ケア
研究大会

詳しくは
こちらから



大会参加のポイント

1. 持続可能な介護事業経営を実現するための実践術を学ぶ

制度改定対応・保険外・産福連携・地域資源活用で、新たな価値を創出し地域の多様なニーズに応える力を身につける。

2. 現場を動かすマネジメントと組織づくりのヒント

人材育成→定着→チーム強化まで! 成功施設の実践的なノウハウを共有。

3. 利用者満足度を高めるプログラムと介護負担の軽減を両立する新しいケアの工夫

日々忙しい介護現場でもすぐに実践できる活動と技術を参加体験型で学ぶ。

4. 根拠に基づいたリハビリ実践で成果を出す

根拠あるリハビリで成果見える化し、ご利用者・家族・地域の信頼を高める。

5. 認知症ケアの実践ポイントをおさえる

本人の尊厳を守り、正しい介護技術を身につけ家族や地域とともに支えるケアの実現。

対面だから
こそ

参加する最大のメリットはこれ!

1 参加者・講師との交流が生まれる

参加者と講師の距離感が近く、毎年たくさんの交流が生まれています。大会後も交流が続き、日々の業務改善や現場の活性化に役立ちます。

2 聴講だけじゃない! 参加体験型の学び

演習・実技・ディスカッションで学びをフル体験。知識を「自施設で使える形」に落とし込み、即実践につながります!

3 最新情報&最新事例が一気に手に入る

制度改定と介護業界を取り巻く最新情報、先進施設の経営戦略やケアの工夫をまとめて学べます!

11月15日(土)

経営者・管理者・リーダー・現場スタッフの複数名でご参加いただくことで、翌日からの実践力がグンゾクと高まります!

10:00	特別講演【1】 2040年に向けた地域のサービス提供体制の確保等について	休憩	現場向け実技分科会【1】 介護現場で実践するべきケア レク10連発 ～即使用できる活動ネタを実体験～	一般演題発表 [9:30～15:50] ・デイ運営の工夫 ・認知症ケアの工夫 ・介護現場でのさまざまな取り組み ・機能訓練・リハビリ ・その他
11:30 11:45	特別講演【2】 「制度」から「実践」へ! これからの地域包括ケアはどう築くか	運営セミナー【1】 人手不足に悩まない施設はここが違う! なぜあの事業所は辞めないのか? 人が集まるのか? 離職防止・人材定着・人材確保の秘密を公開	休憩	現場向け実技分科会【2】 デイのウリになる新しいトレーニング10連発 ～すぐに使える訓練ネタを実体験～
13:15 14:15	特別講演【3】 「産福共創モデル」で変わる! 介護現場の未来 ～通所サービスが担う“保険外支援”的可能性～	運営セミナー【2】 地域で選ばれる通所リハ! マネジメント×マーケティングで創る! 連携型リハビリ事業の未来	休憩	現場向け実技分科会【3】 クレームの芽は現場にあり! 小さな違和感をどう拾い上げ、 現場スタッフの対応力をどう育てるかロールプレイで学ぶ
15:45 16:00	特別講演【4】 実践で差がつく! 明日やってみたくなる! 現場が変わる! 利用者増に役立つとっておきユニークプログラム	認知症ケアセミナー【1】 介護現場で働くスタッフのための認知症ケアの基本	休憩	運営セミナー【3】 通所リハ・通所介護で行う 利用者が活躍! イキイキ・ワクワクとなる 社会貢献プログラム・活動の工夫
17:30 17:45	サンセットセミナー【1】 制度改定に備える! 訪問通所介護の経営と運営実務 全国の訪問通所介護実施事業所の報告	サンセットセミナー【2】 新人・中堅・ベテラン別“つまずき”的方薦 階層別スタッフマネジメントのつまずきとその乗り越え方	休憩	現場向け実技分科会【4】 日常のプログラムに取り入れる 癒しの化粧行為 ～ハンドケア・スキンケア・マイクアップで広がる介護予防の可能性～
19:00				

11月16日(日)

9:30	特別講演【5】 地域共生社会を支える 介護予防・総合事業の再構築制度の 次なる展開と現場実装への視点 ～専門職と地域住民の協働による介護予防の次なるステージ～	運営セミナー【4】 利益率を高める“通所系サービスの 売れる仕組み”とは?	現場向け実技分科会【5】 介護技術を用いたかわりを見直そう!! その介護技術大丈夫!? 「負担」から卒業! 立ち上がり・移乗の介護技術	現場向け実技分科会【6】 歩行の質が変わる! “なんとなく歩きにくい”を見逃さない 現場でできるフットトレーニング
10:45 11:00	特別講演【6】 実践で差がつく! 明日やってみたくなる! 現場が変わる! デイのとってもおきユニークプログラム	運営セミナー【5】 現場で差がつく! “伝わる・つながる”リハマネジメント実践術 ～計画書・モニタリング・情報共有を“こなす”から“活かす”そして“質を高める”へ～	現場向け実技分科会【7】 介護技術を用いたかわりを見直そう!! 介護技術を用いた認知症ケア 不安・不快(焦り)の軽減	現場向け実技分科会【8】 パーキンソン病・片麻痺の方への 生活を改善する動作トレーニング
12:15 13:15	シンポジウム 通所リハ・通所介護の新しい道 地域の困りごと解決を通した 事業の広がり方と展開 地域に必要とされる“選ばれる”戦略	運営セミナー【6】 人が育ち、人が辞めない職場へ! 小さな事業所が実践した“定着×育成”的工夫 ～新人が3ヶ月で戦力化、そして3年続く職場になるために～	現場向け実技分科会【9】 科学的根拠で納得! 「明日から使える」トレーニングのコツ 対象者自身が変化を実感できる実践講座	認知症ケアセミナー【2】 認知症の方とのコミュニケーション技術 会話が難しい方とのコミュニケーションのとり方
14:30 14:45	特別講演【7】 地域包括ケアシステム2.0時代に 通所系サービスはどう対応するか	運営セミナー【7】 令和のリスクマネジメント カスハラ・問題職員・事故発生の危機対応 管理者・リーダーが習得すべきリーダーシップとフォロワーシップ	運営セミナー【8】 どうなる? どうする? 通所リハのこれからと、選ばれる新しい通所リハづくり	認知症ケアセミナー【3】 【演習で学ぶ】これって不適切ケア? PTSDを回避! 感情理解からひもとく認知症ケア 現場で“よくある”グレーな言動を見逃さないための対応スキル
16:00				

*プログラム・テーマは変更になる場合があります。ご了承ください。

講演・シンポジウム

持続可能な介護経営を実現するための実践解説と制度の枠を超えた次世代型介護経営の道しるべ

特別講演【1】 11月15日(土) 10:00~11:30

2040年に向けた地域のサービス提供体制の確保等について



講師：村中 秀行 氏
厚生労働省 老健局総務課 企画官

2040年に少子高齢化がピークに達し労働力不足が深刻化して経済や社会システムが機能不全に陥る「労働供給制約社会」が予測される中で、地域の医療・介護提供体制は大きな転換点を迎える。本講演では、「2040年に向けたサービス提供体制等のあり方」検討会の議論の内容を中心に今後の報酬改定・制度改正の動向、介護保険制度の中長期的な方向性についてお話し申します。

特別講演【2】 11月15日(土) 11:45~13:15

「制度」から「実践」へ！これからの地域包括ケアをどう築くか

講師：田中 明美 氏
奈良県福祉健康部 次長
元厚生労働省老健局 地域づくり推進室

地域包括ケアの理念は整いつつある一方で、「制度があって機能しない」「連携が形骸化している」という声も少なくありません。本講演では、そうした課題を正面から見据えつつ、現場で地域包括ケアを「生きた仕組み」として動かすための具体的な手法を提示していただきたい。医療機関や行政など社会資源との実効的な連携、まちづくりへの関わり方など、経営者・管理者が今から備えるべき視点と行動を明確にしていただきます。

特別講演【3】 11月15日(土) 14:15~15:15

「産福共創モデル」で変わる！介護現場の未来～通所サービスが担う“保険外支援”的可能性～

講師：小野 聰志 氏
経済産業省 企画官(ヘルスケア産業担当)

地域包括ケアの持続可能性を高めるため、いま注目される「産福共創モデル」。本講演では、経済産業省より専門官をお迎えし、事業者と自治体が介護保険外を含めた介護関連サービスの振興と地域作りに共に取り組む連携がもたらす新たな価値と、その実現における通所系サービスに求められる役割について解説していただきます。

運営セミナー

運営セミナー【1】 11月15日(土) 11:45~13:15

なぜあの事業所は辞めないのか？人が集まるのか？離職防止・人材定着・人材確保の秘密を公開

講師：東谷 久美子 氏
地域密着型特別養護老人ホーム
五本松の家 施設長

深刻な人手不足が続く介護現場ですが、実は人材に困らない施設・事業所があります。本セミナーでは、実際に離職防止・人材定着に成功している施設が、現場で行っている具体策を大公開いたします。採用広告や条件だけではなく、職員が「ここで働きたい」と感じる仕組みづくり、人が自然に集まる職場文化の作り方のヒントを学べます。

運営セミナー【2】 11月15日(土) 14:15~15:45

地域で選ばれる通所リハへ！マネジメント×マーケティングで創る！連携型リハビリ事業の未来

講師：高木 綾一 氏
株式会社WorkShift 代表取締役

セミナーのポイント

- ・通所リハビリの強みを再定義し、他事業所との差別化を図る視点
- ・地域資源(訪問・居宅・医療機関など)との連携によるネットワーク型サービス戦略
- ・組織マネジメントの基本(ビジョン・人材育成・業務設計)の実践的な活用法
- ・地域ニーズを把握するマーケティング思考と情報発信の戦略
- ・成果につながる実践事例の紹介と明日から使えるアクションプランの提案
- ・人材問題とDX化・育成体制など

運営セミナー【3】 11月15日(土) 16:00~17:30

通所リハ・通所介護で行う利用者が活躍！イキイキ・ワクワクとなる社会貢献プログラム・活動の工夫

講師：濱田 桂太朗 氏
株式会社ユニティ 代表取締役

セミナーのポイント

- ・活動参加の大切さ(役割がなぜ必要か)
- ・これまでのやったみた活動・参加(しくじり談あり)
- ・どうやって発案し作っていくのか(実践と演習含む)
- ・人材問題とDX化・育成体制など

特別講演【4】 11月15日(土) 16:00~17:30

実践で差がつく！明日やってみたくなる！現場が変わる！利用者増に役立つとっておきユニークプログラム

【登壇事業所】
・社会福祉法人フラワー園
・株式会社 墓らり
・総合介護施設ありがとうグループ

制度改定や厳しい経営環境の中でも、ご利用者に選ばれ、スタッフがイキイキと働く事業所には必ず理由があります。本講演では、全国各地で実際に成果を上げている3事業所に「どう現場を動かし、どう事業所運営で成果を出しているのか」を、具体的な取り組み、活動とともに公開していただきます。

特別講演【5】 11月16日(日) 9:30~10:45

地域共生社会を支える介護予防・総合事業の再構築制度の次なる展開と現場実装への視点

講師：鎌田 大啓 氏
株式会社TRAPE 代表取締役／作業療法士

介護予防・総合事業は、地域住民主体の取り組みが理想とされながらも、現場レベルでは「扱い手が見つからない」「活動が広がらない」という課題が続いている。本講演では、この現実を踏まえ介護事業者がどのように地域と関わり、専門職の力を活かしながら扱い手不足を補い、地域づくりに連携していくのかを具体的な戦略につながるヒントを提示していただきます。

特別講演【6】 11月16日(日) 11:00~12:15

実践で差がつく！明日やってみたくなる！現場が変わる！デイのとっておきユニークプログラム

【登壇事業所】

- ・株式会社ONZii Act
- ・株式会社奏恵詩
- ・総合リハビリケアセンターアクティブワン

全国各地で、ご利用者の笑顔と事業所の成長を両立させる先進デイサービス3事業所が、独自の取り組みとユニークな活動の秘訣を大公開いたします。経営者には「事業拡大や収益向上に直結する実践アイデア」、管理者・現場リーダーには「スタッフを巻き込み、現場を変える運営手法」、現場スタッフには「ご利用者が喜び、楽しめる即実践プログラム」のヒントとして情報を活用いただけます。

運営セミナー【4】 11月16日(日) 9:30~10:45

利益率を高める“通所系サービスの売れる仕組み”とは？

講師：三好 貴之 氏
株式会社メディックプランニング 代表取締役

セミナーのポイント

- ・なぜ、介護者が増加しているのに通所事業所は減少しているのか
- ・これから起こる通所の「勝ち組」「負け組」の二極化
- ・勝ち組になるために必要な集客術とは
- ・なぜ、あなたの通所の「強み」が伝わらないのか
- ・上手くいっていない通所がやってしまう差別化戦略とは

運営セミナー【5】 11月16日(日) 11:00~12:15

現場で差がつく！“伝わる・つながる”リハマネジメント実践術

講師：今井 優利 氏
医療法人和光会 介護老人保健施設
寺田ガーデン 在宅部 課長／理学療法士

セミナーのポイント

- ・リハビリマネジメントの実践報告
- ・その他加算取得の状況
- ・現状と今後の課題
- ・他事業所との連携

運営セミナー【6】 11月16日(日) 13:15~14:30

人が育ち、人が辞めない職場へ！小さな事業所が実践した“定着×育成”的工夫

講師：坂枝 真一 氏
リハビリテーションあいのわ 代表取締役／理学療法士

セミナーのポイント

- ・職場づくりの肝“M&V”と“風土”づくり
- ・求職者のミスマッチを防ぐコト
- ・育成は“教える”だけでなく“ルール化する”コト
- ・定着は“仕組み”と“文化”的両方で支える
- ・小さな事業所だからこそできる強み(スピード感・柔軟性・個別対応)を活かす

特別講演【7】 11月16日(日) 14:45~16:00

地域包括ケアシステム2.0時代に通所系サービスはどう対応するか



講師：妹尾 弘幸 氏
日本通所ケア研究会 会長

地域包括ケアシステムは次のフェーズへと「進化」「深化」「真価」し、医療・介護・福祉・地域資源の連携がより高度化されます。本講演では、通所系サービスが直面する課題を整理し、経営・運営・現場実践の視点から具体的な対応策を提示いたします。

シンポジウム 11月16日(日) 13:15~14:30

通所リハ・通所介護の新しい道 地域の困りごと解決を通した事業の広がり方と展開 地域に必要とされる“選ばれる”戦略

【登壇事業所】

- ・医療法人博仁会
- ・合同会社P-BEANS/トラベルwithじぇぶと
- ・BP Plus株式会社

人口減少・人材不足・利用者ニーズの多様化という課題に直面する介護業界。デイの役割は「サービス提供」から「地域の課題解決」へと今後広がっていきます。本シンポジウムでは、先進的な取り組みを行う事業者を迎えて「どのように地域課題や社会課題を事業の成長に結びつけたのか」「なぜ利用者・地域から選ばれ続けているのか」「その戦略と実践の裏側」などを深掘りしていきます。



運営セミナー【7】 11月16日(日) 14:45~16:00

令和のリスクマネジメント！カスハラ・問題職員・事故発生の危機対応 管理者・リーダーが習得すべきリーダーシップとフォロワーシップ

講師：立崎 直樹 氏
めでたし・管理職の伴走型育成

セミナーのポイント

- ・リスクマネジメントとは、リスクゼロを目指すことではない
- ・事前対応こそ、リスクマネジメント
- ・変えられるものと変えられないものを分ける
- ・管理者は裁判官ではない。問題を解決する責任者である
- ・リーダーシップ・フォロワーシップを身につけること、責任を果たすことが楽しくなる

運営セミナー【8】 11月16日(日) 14:45~16:00

どうなる？どうする？通所リハのこれからと、選ばれる新しい通所リハづくり

講師：鈴木 満 氏
医療法人鈴木内科医院 事務長／理学療法士

セミナーのポイント

- ・長時間から短時間デイケアへの移行戦略(利用者ニーズ・経営状況を踏まえた決断と実行のプロセス)
- ・収益性の劇的改善(利用枠拡大・待機者発生・水道光熱費・消耗品コスト削減で利益率アップ)
- ・リハビリ効果の向上(集中型・高密度の個別リハでADL改善や運動機能向上を実現)
- ・利用者・ケアマネジメント選ばれる理由(問い合わせ急増と紹介数アップの仕組み)
- ・プラスαの付加価値でさらなる収益化(飲み物や栄養補助食品(リハタイムゼリー等)の提供で運動効果UPとパート收入確保)



認知症ケアセミナー

認知症ケアの基本+応用を体験

認知症ケアセミナー【1】 11月15日(土) 16:00~17:30

介護現場で働くスタッフのための認知症ケアの基本



講師：さとう みき 氏
とうきょう認知症希望大使

セミナーのポイント

- ・認知症という言葉の意味を考える
- ・介護現場での経験がない中で、診断後にデイサービスで働く経験
- ・認知症のある仲間や自分自身の変化と受容
- ・認知症のある私たちの思いと「認知症基本法」
- ・どんな風に過ごしたいか、これからのこと

認知症ケアセミナー【2】 11月16日(日) 13:15~14:30

認知症の方とのコミュニケーション技術 会話が難しい方とのコミュニケーションのとり方



講師：川畠 智 氏
株式会社Re学 代表取締役／理学療法士

セミナーのポイント

- ・認知症という言葉の意味を考える
- ・自分のなりの認知症ケアが認知症の人を苦しめる場合があることを理解する
- ・認知症の方のために必要な「時間の余裕」「心の余裕」「知識(選択肢)の余裕」を学ぶ
- ・認知症の障害部位は大脳であることを理解し、脳の仕組みを知り予後予測する力を身に着ける
- ・認知症対策に必要な「3C」について

認知症ケアセミナー【3】 11月16日(日) 14:45~16:00

【練習で学ぶ】これって不適切ケア？BPSDを回避！感情理解からひもとく認知症ケア



講師：渡辺 哲弘 氏
株式会社きらめき介護塾 代表取締役／認知症介護指導者

セミナーのポイント

- ・介護職に必要な能力って？～心身の状況に応じたケアの実践～
- ・“寄り添う”？～私達はいったい何をしたらいいの？～
- ・“記憶障害”って？～認知症の進行度合いによって異なる特徴を理解しよう！～
- ・“脳の仕組み”～利用者の不可解な行動は、すべて脳の中で起こっている！～
- ・“どうして拒否するの？怒り出すの？”～良かれと思ってやっているケアが上手くいかない理由を探る～

サンセットセミナー

サンセットセミナー【1】 11月15日(土) 17:45~19:00

制度改定に備える！訪問通所介護の経営と運営実務 全国訪問通所介護実施事業所の報告



現場向け 実技分科会

現場向け実技分科会【1】
11月15日(土) 10:00~11:30

介護現場で実践するべき
ケアレク10連発

講師：山口 健一 氏
株式会社バイタル エフステージ白木
作業療法士

介護現場で日々のしクリエーションやアクティビティのアイデアに悩むスタッフは少なくありません。本実技分科会では、実際に体験しながら学べるワークショップ形式で、すぐに現場で活かせる「ケアレク」をご紹介します。手軽に準備できるものから、利用者の認知・身体機能を自然に引き出す工夫まで、幅広い活動を実践しながら理解できます。

現場向け実技分科会【2】
11月15日(土) 11:45~13:15

ティのウリになる
新しいトレーニング10連発

講師：山口 健一 氏
株式会社バイタル エフステージ白木
作業療法士

通所介護・通所リハの現場で、「もっと効果的で利用者が主体的に取り組めるトレーニングを取り入れたい」と感じているリハビリ職、機能訓練指導員などは多いと思います。本実技分科会では、日々の運動プログラムを「ワリ」に変える、新しいトレーニングアイデアを体験して学んでいただきます。効果や楽しさを実感し、そのまま翌日からすぐに現場で実践いただける内容です。

現場向け実技分科会【3】
11月15日(土) 14:15~15:45

クレームの芽は現場にあり！
小さな違和感をどう拾い上げ、現場スタッフの対応力をどう育てるかロールプレイで学ぶ

講師：小原 日出美 氏
chain of smile 代表

分科会のポイント
・蓄積から生まれる、小さなサインを見逃さないための視点を持つ
・達成感に気づく感度を上げる「なんか変」という職員の感覚大切にする職場づくり
・気づきを共有できる風通しのよいチームづくり
・気まずさや遠慮で終わらせない工夫
・現場でよくある画面を再現！「考え方・受け止め方」を体験して対応力を養う
・初期対応の重要性を考える「クレーム未満」の段階での対応が信頼を守る鍵

現場向け実技分科会【4】
11月15日(土) 16:00~17:30

日常のプログラムに取り入れる癒しの化粧行為
～ハンドケア・スキンケア・メイクアップで
広がる介護予防の可能性～

講師：野村 加奈子 氏
資生堂ジャパン株式会社 美容戦略部
社会活動企画推進G ソーシャルエリアリーダー

分科会のポイント

・化粧療法講座とは
・ストレッチ（身体を動かしてリラックス）
・スキンケア＆睡液腺を刺激マッサージ
・簡単化粧（日焼け止め・ファンデーション・眉・口紅・頬紅）をセルフ実習
・参加者同士の仕上がりを確認、ほめあうことでコミュニケーションと笑顔

現場向け実技分科会【5】
11月16日(日) 9:30~10:45

介護技術を用いたかかわりを見直そう！
その介護技術大丈夫！？「負担」から卒業！
立ち上がり・移乗の介護技術

講師：山出 貴宏 氏
株式会社NGU 代表取締役／介護福祉士

分科会のポイント

・セラピストではなく「介護士」としてのかかわり方
・負担軽減についての視点
・立ち上がり動作の確認
・有する能力について
・立ち上がり・移乗介助の介護技術体験

現場向け実技分科会【6】
11月16日(日) 9:30~10:45

歩行の質が変わる！
“なんとなく歩きにくい”を見逃さない！
現場でできるフットトレーニング

講師：山本 香百合 氏
ナーシングフットケアNIKO 代表

分科会のポイント

・ご利用者の歩行の変化に気付くポイント
・ご利用者に安心と安全を感じていただける歩行介助のポイント
・歩行補助機の正しい使用方法
・座りっぱなしにならない楽しくカラダを動かし歩行改善
・靴の履き方・選び方で変わる歩行(足の仕組み)

現場向け実技分科会【7】
11月16日(日) 11:00~12:15

介護技術を用いたかかわりを見直そう！
介護技術を用いた認知症ケア
不安・不快(焦り)の軽減

講師：山出 貴宏 氏
株式会社NGU 代表取締役／介護福祉士

分科会のポイント

・有する能力について
・行動・心理症状について
・介護技術を用いたかかわりの重要性
・自立(律)支援について
・「誰のため?」「何のため?」の確認

現場向け実技分科会【8】
11月16日(日) 11:00~12:15

パーキンソン病・片麻痺の方への生活を
改善する動作トレーニング

講師：生野 達也 氏
動きのコツ研究所リハビリセンター
代表／理学療法士

分科会のポイント

・リハビリ効果がでないワケ
・運動の考え方(動きのコツ)とは:実技
・動きにくさを評価するコツ:実技
・動きやすさを指導するコツ:実技

現場向け実技分科会【9】
11月16日(日) 13:15~14:30

科学的根拠で納得！
「明日から使える」トレーニングのコツ
対象者自身が変化を実感できる実践講座

講師：多々良 大輔 氏
switch physio 代表／理学療法士

分科会のポイント

・科学的根拠(エビデンス)
・運動の考え方(動きのコツ)
・動きにくさを評価するコツ:実技
・動きやすさを指導するコツ:実技
・集団指導(グループトレーニング／集団体操)

第23回 日本通所ケア研究大会

合同開催：第20回 認知症ケア研修会in福山／第1回 訪問通所介護大会

一般演題
発表者

大募集

【開催概要】

【発表日程】 2025年11月15日(土)

【募集題数】 限定20題

【発表時間】 10分(質疑応答を含む)

【発表内容】

現場実践・運営にかかる取り組み
(商材の宣伝などはご遠慮いただいております)

取り組みの「見える化」

全国の他施設に届く！

質疑応答が次の一步に！

応募締め切り
2025年10/20(月) 必着

【発表形式】

パソコン操作による PowerPoint(Microsoft office)を使用した口頭発表

【注意事項】

- ・倫理的配慮がされている発表であることを確認してください
- ・同一発表者が2演題以上の申込み、発表を行うことはできません

最優秀演題は
月刊ティに掲載

募集残数
わずか!!
お早めにお申込み
ください

演題発表申し込み
フォーム



第23回
日本通所ケア
研究大会

大会参加をより有意義にするための プレセミナー

2025年 11月14日(金)

参加費
10,000円 (税・資料代込み)
※大会参加者無料

会場

広島県民文化センターふくやま
広島県福山市東桜町1-21



プログラム

※プログラム・テーマは変更になる場合がありますことをご了承ください

13:00	経営者向け【1】	管理者向け【1】
	制度・報酬改定の動向への具体策 2040年に向けて今後何をすべきか	ヒヤリから始まる信頼崩壊 事故・クレーム・トラブルに強いディーになる
15:00	管理者向け【2】	経営者向け【2】
15:15	赤字脱却・黒字転換するための10の具体策	介護事業の経営に収益の柱をもう1本 ～通所サービスにもう一工夫～
17:00		

大会プレセミナー講演内容

経営者向け【1】
11月14日(金) 13:00~15:00

制度・報酬改定の動向への具体策
～2040年に向けて今後何をすべきか～

講師：妹尾 弘幸 氏
日本通所ケア研究会 会長

団塊ジュニアが高齢化のピークを迎える2040年に向け、制度や報酬の変化を正しく理解することは経営者に不可欠です。本セミナーでは、ご利用者の安全とご家族の信頼を守るために、リスク要因の整理からクレーム対応・再発防止まで具体的な方法を示します。

管理者向け【1】
11月14日(金) 13:00~15:00

ヒヤリから始まる信頼崩壊
事故・クレーム・トラブルに強いディーになる

講師：山下 総司 氏
株式会社IDO コンサルティング事業部 介護部門ディレクター

介護現場では小さな「ヒヤリ」を見逃すと重大事故や事業所全体の信頼失墜につながります。本セミナーでは、ご利用者の安全とご家族の信頼を守るために、リスク要因の整理からクレーム対応・再発防止まで具体的な方法をお伝えします。

経営者向け【2】
11月14日(金) 15:15~17:00

介護事業の経営に収益の柱をもう1本
～通所サービスにもう一工夫～

講師：山下 総司 氏
株式会社IDO コンサルティング事業部 介護部門ディレクター

介護事業は制度改定や人材不足、物価高騰など難しさを増しています。安定経営のためには介護保険サービスに依存せず、新たな収益の柱を持つことが重要です。本セミナーでは、保険外サービスや新規事業、異業種連携など、多角的な収益強化のヒントを提供します。

管理者向け【2】
11月14日(金) 15:15~17:00

赤字脱却・黒字転換するための10の具体策

講師：妹尾 弘幸 氏
日本通所ケア研究会 会長

介護事業では人件費や光熱費の上昇、制度改定の影響などで従来の運営では黒字維持が難くなっています。しかし一方で、戦略的な具体策を実行し、黒字転換を実現している事業所もあります。その違いは「戦略的な具体策を実行しているかどうか」にあります。

日本通所ケア研究大会プレセミナー お申し込み書

FAX 084-948-0641

希望のものに○をつけてください	経営者向け【1】	経営者向け【2】	管理者向け【1】	管理者向け【2】
ふりがな				
参加者名	①参加者代表	②	③	
住所 (自宅・勤務先)	〒		TEL	
			FAX	
勤務先			携帯	
			メール (必須)	
連絡先 (自宅・勤務先)				

最少催行人数(10名)に達しない場合は中止になる場合があります。
受講料の納付をもって正式申し込みとなります。尚、入金後の受講料の返金はいたしません。
お申し込み後、一週間以内に入金案内が届かない場合は、事務局までご連絡ください。

ご記入いただいたメールアドレスは各種連絡または、その他研修のご案内のみに使用します。

お問い合わせ
日本通所ケア研究会事務局 〒721-0902
広島県福山市春日町浦上1205 (株)QOLサービス内
ホームページ <https://tsuusho.com/conference/seminar/#pre> メール info@tsuusho.com

TEL 084-971-6686
FAX 084-948-0641